



70TH ANNIVERSARY
YAMANASHI GAKUIN
1946-2016

山梨学院幼稚園

Yamanashi Gakuin Kindergarten

入園案内



良質な教育こそ、子どもたちへの最高の贈り物

山梨学院

だから

できることがあります

幼児期の子どもたちに一番大切なものは何でしょう？

それは急いで発達を促すことでも早く花を咲かせることでもなく、

将来大きな木となるための根をしっかりと張ることではないでしょうか。

山梨学院幼稚園では、

「子どもを人として尊ぶ」「生活の中で育てる」を2つの大きな柱として、

未来にむかってしっかり根を張るための幼児教育に取り組んでいます。

良質な教育こそ、子どもたちへの最高の贈り物です。

「山梨学院幼稚園」は無限に広がるお子様の未来に

きっとお役に立てると確信いたしております。

C O N T E N T S

- 2 TOPICS
- 4 教育理念
- 6 遊びの中で智を育む
- 8 遊びの中で心を育む
- 10 遊びの中で体を育む
- 12 幼稚園の1年間
- 16 アルテア子ども館
- 20 幼稚園の1日
- 21 園舎・沿革



TOPICS

(2016年3月1日より)

「国際バカロレアPYP候補校」認定

山梨学院幼稚園・山梨学院小学校は、2016年3月1日付で、IBO(国際バカロレア機構)より、「国際バカロレアPYP候補校」として認定されました。幼稚園と小学校の9年間のプログラムを提供する「国際バカロレアPYP候補校」認定は、日本の一条校*の中で山梨学院が全国初となります。今後、山梨学院幼稚園と小学校が「IBワールドスクール」として承認されるように、候補校としての教育活動を重ねていきます。

*一条校とは…学校教育法(昭和22年法律第26号)の第1条に掲げられている学校。教育課程は文部科学省の示す学習指導要領に基づいて定められる。

国際バカロレア(International Baccalaureate)とは

国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラム。

国際バカロレア(IB:International Baccalaureate)は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確認することを目的として設置。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施。

【平成28年2月1日現在、世界140以上の国・地域、4,420校において実施。】

PYP Primary Years Programme (プライマリー・イヤーズ・プログラム)とは

3~12歳を対象として、精神と身体の両方を発達させることを重視して国際バカロレア(IB)が定めたプログラムです。

IB Learner Profile (IB学習者像)

Inquirers

探究する人

Knowledgeable

知識のある人

Thinkers

考える人

Communicators

コミュニケーションができる人

Principled

信念をもつ人

Open-minded

心を開く人

Caring

思いやりのある人

Risk-takers

挑戦する人

Balanced

バランスのとれた人

Reflective

振り返りができる人



山梨学院幼稚園は国際バカロレア(IB)初等教育プログラムの候補校*2です。本園は、IBワールドスクール(IB認定校)としての認定に向けた申請段階にあります。IBワールドスクールは、「質の高い、チャレンジに満ちた国際教育に信念をもって取り組む」という理念を共有する学校です。山梨学院幼稚園も、このような教育に取り組むことが園児にとって大切であると信じています。

*2…IBの「初等教育プログラム」(PYP)、「中等教育プログラム」(MYP)、「ディプロマプログラム」(DP)の3つのプログラム(および「IBキャリア関連サーティフィケート」)を実施することができるのは、国際バカロレア機構に認定された学校のみです。候補校であることは、IBワールドスクールとして認定されることを保証するものではありません。IBおよびIBのプログラムの詳細については、ウェブサイト(<http://www.ibo.org>)をご覧ください。

のびのびと遊ぶ中で自ら学ぶ力を身に



2012・2013・2014・2015年度
ソニー教育財団 4年連続の受賞

ソニー幼児教育支援プログラム

「科学する心を育てる」優秀園受賞

ソニー幼児教育支援プログラムとは、ソニー教育財団が、『科学する心を育てる』～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～というテーマのもと、独自性のある教育実践や計画を全国の幼稚園、保育所等から募集し、入選園には教育助成金等をおくって、その教育を支援するというものです。例年、幼児教育の改善に熱心に取り組んでいる全国の幼稚園、保育所等から多数の応募があり、本園は2012年度、2014年度に奨励園、2013年度、2015年度には**優秀園(全国で12園、山梨県で唯一)**に選ばれました。

2012年度

“社会”の中で「科学する心」を育む

事例 マーケットゲーム:自動車工場



2013年度

遊びの中で活躍する「小さな科学者たち」

事例 テントウムシになあれ～!

～年長児のテントウムシ飼育～

事例 「影絵劇場」「影あてクイズ」に来てください!!

～年長児の影遊び～



2014年度

遊びの中で「科学する心」を育む ～「子どもたちのアート」を見つめて～

事例 土ねんどっておもしろい!

事例 カビ研究!



2015年度

「科学する心」って? ～「わかった!」「できた!」が嬉しくて～

事例 泡ってふしぎ! ～シャボン玉をつくりたい～

事例 光の実験 ～影・鏡・万華鏡・プラネタリウム～



つけていく

教育理念

子どもの善いものは、
よろこびの中で育ちます



子どもを人として尊ぶ

本園では、子どもを深く愛し、
その心の声に耳をすませ、
その思いを尊重することを、とても大切にしています。
自分の思いが大切にされることを通して、
子どもは自分が大切な存在であることを知り、
自分以外の人を大切にしていくことを学んでいきます。
幼児期に培われた自己肯定感と
それを基盤とした他者への愛情は、
その子の一生を支えます。
愛されることを通して、
自分を愛し、他者を愛することを学び、
共に笑い合うことで、
他者と共に生きる素晴らしさを学びます。
子どもの善いものは、よろこびの中で育つのです。



遊びの中で生まれる不思議、発見、感動 夢中になって遊んでいるとき、 それは子どもが“学んでいる”瞬間です

生活の中で育てる

子どもたちが生活の中で

自ら生み出す遊びの中にこそ、本当の学びがあります。

本園では、遊びの中で、子どもたちが

「なぜだろう?」「どうしたらいいんだろう?」と問いをもち、

子どもたちなりに実験を繰り返し、気づき、発見し、

「ああ、そうなんだ!」「おもしろい!」と、

実感をともなって体験的に自ら学びとっていくということを、

とても大切にしています。

そうして夢中になって探究していく中で、

子どもたちが実感をともなって学びとったもの、

さらに、その中で味わった自ら探究する喜びは、

しっかりと子どもたちの中に残り、生涯つづく学びの基盤となって、

子どもたちを支えてくれるものとなります。

子どもが夢中になって遊んでいるとき、

それは子どもが“学んでいる”瞬間なのです。



遊びの中で

知 口 目 を 育 む

幼児期にこそ、発見する喜び、創り出す喜びを



智 情 勇

か・し・こ・く



知的好奇心を高め探究力を育む 「科学遊び」

「先生、手にきらきらの砂がついてるよ!」砂もよく見るといろいろな色や形があることに気づいた子どもたち。やがて、「魔法の砂」(砂鉄)も見つけていきました。自ら試行錯誤し発見していく楽しさの中で、子どもたちの知的好奇心、探究力はぐんぐん高まっています。



「感じ考える」ための言葉を育む 「言葉遊び」

日本語は子どもが「感じ考える」ための言葉です。ライブラリーには数千冊の絵本や図鑑がそろっています。なぞなぞ、替え歌、劇遊びなど、子どもたちは楽しい言葉遊びが大好きです。



自分たちのアイデア・工夫で遊びを創り出す 「ダイナミックワールド」

「これやってみたい!」「あれつくってみたい!」と日々、様々なものに興味をもち、自ら遊びを生み出していく子どもたち。秋には年少から年長までが一緒になって、自分たちの手で園舎全体を巨大テーマパークに創り上げます! 「どうしたらもっと楽しくなる?」子どもたちの頭はフル回転です。



遊びの中で

幼児期にこそ、心に残る、最初の出会いを

心を育む



智 情 勇

や・さ・し・く

グローバルな感性の基礎を育む

「多文化教育」

山梨学院大学の多彩な外国人教授、留学生をはじめ、いろいろな国々の人と出会い、楽しく触れ合う中で、様々な文化への興味・関心を高め、グローバルな感性の基礎を育みます。「フィンランドのジャンケンとは?」「フランスにも折紙がある?」子どもたちは驚くほど積極的です。



音楽を心で感じ表現する

「音楽遊び」

きれいな声で歌うこと、日本語の美しさを感じながら歌うこと、歌で表現されている世界を想像すること、リズムを体で感じのびのび表現すること。これらを通して、音楽の美しさ、深さ、広がりを感じ、表現する喜びを味わっていく子どもたち。ときには、自分たちで歌やダンスを創作したり、手作り楽器で演奏したりすることもあります。



個性豊かに表現し互いに称え合う

「造形遊び」

自由に自分の好きな作品を創っているときの子どもたちの目は輝いています。友達同士刺激し合い賞讃し合う中でその表現力は一層高まっていきます。山梨学院短期大学に行き、伊藤美輝教授と皆で大きな作品にチャレンジすることもあります。



遊びの中で

体を育む

幼児期にこそ、超一流とのふれあいを

運動能力を高める 「スポーツデー」

日々の体育遊びを深め、運動能力を高めるために、年間を通して週1回、「スポーツデー」を設けています。山梨学院大学陸上競技部、柔道部、ラグビー部、山梨学院高校サッカー部の監督などを講師に迎えることも度々です。一流のアスリートへの憧れは、子どもの運動への意欲を一層高めます。



健康な心と体を育む 「スイミング」

園舎内の温水プールで、年間を通して週1回、本園体育指導員、山梨学院大学水泳部員による水泳指導をおこなっています。それぞれにあった指導を心がけ、水と触れ合うことの楽しさを味わえる機会となるよう配慮しています。山梨学院大学卒業生でオリンピックメダリストの鈴木聡美選手をコーチに迎えることもあります。



自然の恵みを肌で感じる 「ファーム」

自然と直接触れる体験は、幼児期に欠かせないものです。子どもたちの農園「アルテア子どもファーム」は、園から歩いて数分の場所にあります。四季折々に変化する自然への感動や、植物が生長していく喜びを子どもたちにもたらせてくれています。自分たちで育て収穫したものを、給食で食べることもあります。梅漬けや干し柿作りも毎年おこなっています。



作りたてのおいしい 「給食」



園内の給食施設「クッキングハウス」は、適切な栄養管理、アレルギーへの細やかな対応、徹底した衛生・安全管理、多様な食育への取組、施設設備の充実等が評価され、2013年度、山梨県知事より「特定給食施設表彰」を受けました。



智 情 勇

つ・よ・く



幼稚園の1年間

4月 入園式★ 保育参観★ 5月 親子遠足★ 梅漬け
6月 創立記念日 スイミング参観★

★は保護者の方にご参加いただくものです。

子どもがかがやく

春



保護者の声 VOICE

年少 女児 の母

ライブラリーでいつでも本が読めるのは魅力

私自身が幼いころ、母親はどんなに疲れていても必ず毎日、絵本を読んでくれました。このことは、私自身が人と関わり生活していくうえで、たいへん役立ちました。自分が本を読みたいときに、自由に手にとって読むことができる環境があるのはとても大切だと思い、魅力を感じました。そして、園全体の中央にライブラリーがあることは、山梨学院幼稚園が“常に子どもが中心にある”と感じられるものでした。

年長 年少 男児 の母

先生方の愛情を強く感じています

先生が話す長男のエピソードの中に、子どもを見守り、愛情を注いでくださっていることを強く感じました。私が仕事をもっていますので、幼稚園終了後の預かり保育もお願いしていますが、子どもたちはとても楽しいようで、お迎えの帰りの車の中でも、2人とも、楽しかったお話をいっぱい聞かせてくれ、私自身の安心にもつながっています。



夏

7月 プーク人形劇親子鑑賞会★
 新入園児親子給食会★
 青組(年長)夏季合宿

8月 アルテア夏まつり★

★は保護者の方にご参加いただくものです。

年少 男児 の母

様々な活動を経験できることが嬉しいです

仕事をしているので、習い事に通わせてあげることができないため、幼稚園でのスイミングや預かり保育での英語など、様々な活動があり、嬉しく思っています。子どもも、幼稚園での様子をよくお話ししてくれます。先生が大好きで、担任の先生以外の先生のお名前もよく覚えています。山梨学院幼稚園に入れてよかったと思っています。

年長 年少 男児 の母

子どもが自分で考えて作った作品を見て感動

山梨学院幼稚園の生活は、自分で考え工夫することが多く、入園してからは、牛乳パックやゼリーカップなどを使って、自分でおもちゃを作ることを好むようになってきました。また、私も子どもが考えて作った作品を見るのが楽しみになり、感動しております。息子がみんなで楽しく生活できていることに満足しています。



9月 敬老参観 ★

10月 運動会 ★
赤組(年少)木の実拾い
黄組(年中)社会見学
青組(年長)修園旅行 ★

11月 ダイナミックワールド
干し柿づくり

★は保護者の方にご参加いただくものです。

秋

子どもがかがやく



「安全」に対する意識の高さ

園の職員室からは玄関前の様子がよく見え、人の出入りを職員が常に確認することができます。防犯監視カメラに加え、外部からの侵入を感知できる熱センサーも複数設置しています。緊急時の情報発信システムも整備されています。大災害発生時の対応マニュアルを作成し、保護者の方にもお伝えしています。日頃の避難訓練の徹底はもちろんのこと、非常用の飲料水、食料、防寒用具も用意しています。園に隣接する山梨学院の駐車場は、地域の避難地にも指定されています。2014年度には、「消防設備保守関係功労者」として表彰されました。



12月 たのしい音楽会 ★

1月 もちつき
交通安全教室

2月 節分
黄・赤組(年中・年少)保育参観(劇遊び) ★

3月 青組(年長)卒園発表会 ★
卒園式 ★

★は保護者の方にご参加いただくものです。



冬

「山梨学院」の豊かな教育資源

川田未来の森運動公園、サッカー場、大学キャンパス内のホール、シアター、体育館といった山梨学院の施設の活用はもちろんのこと、各分野で活躍している教員を講師に招くことも度々です。オリンピック、箱根駅伝、甲子園、高校サッカー等の応援も子どもたちの楽しみ。山梨学院小学校との交流も盛んです。「小学校探検」に行ったり、小学生のお兄さん、お姉さんが、演奏会をしにきてくれたりすることもあります。「山梨学院」ファミリーだからこそできる様々な体験を大切にしています。



子育て支援センター アルテア子ども館

本園では、1999年に、学校法人では全国初となる

地域子育て支援センター「アルテア子ども館」を開設しました。

「子どもの最善の利益」を目指し、地域子育て支援のあらゆる可能性を求めて、
様々な事業に積極的に取り組んでいます。



2002年4月竣工
敷地面積1,609.46㎡
延べ床面積278.081㎡



玄関



和室



プレイルーム



テラス



ランチルーム



シャワールーム



お仕事をしている方にも安心のあずかり保育

夕方も、家庭的なぬくもりと豊かな教育的環境の中で

15時ごろから、アルテア子ども館で、夕方の「あずかり保育」がはじまります。ここでは、子どもたちのもうひとつのおうちです。子どもたちは「ただいま」と言い、保育者は「おかえり」と迎えます。上履きを脱いで過ごすアルテア子ども館は、子どもが疲れてごろんと横になりたいときには、すぐにそうできる空間です。

春・夏・冬のおやすみに、とびきり楽しいひとときを

春・夏・冬やすみの「あずかり保育」には、楽しいイベントが盛りだくさんです。やさしい小学生のおにいさん、おねえさん、地域のお友達と一緒に、特別なひとときを過ごします。小学生が本物のやきそばやかき氷のお店やさんになり、幼稚園の子どもたちがお客さんになる「本物の食べ物」でするおまつりごっこは、大人気のイベントのひとつです。



保育プログラムの内容

- 大学の先生と遊ぼう(月2回)
- 英語で遊ぼう(週2回)
- 中国語で遊ぼう(週1回)
- おばあちゃんやおじいちゃんと遊ぼう(月2回)
- 好きな遊びを選んで遊ぼう(毎日)

● 対象

本園のお子様

地域の3歳～小学6年生のお子様(「地域子育て支援保育」として)

3歳未満のお子様でも可能な場合にはお預かりしています。

● 保育時間

月～金曜日(祝日を除く)……………15:00～18:30

本園が半日の場合……………12:00～18:30

本園が春・夏・冬休みの場合………8:30～18:00

可能な限り、ご事情に応じて、保育時間も調節しています。

楽しい「食」のイベント

- “本物の食べ物”でするおまつりごっこ
- お菓子バイキング
- カレーライスづくり
- 手巻きずしパーティー
- サンドウィッチパーティー
- 野菜パーティー
- とん汁づくり
- ホットケーキづくり
- お弁当づくり
- ドーナツづくり

季節のイベント

- 新年おめでとう会
- カルタ大会
- おすもう大会
- ゲーム大会
- すいかわり
- 水遊び
- 大学シアターでの映画鑑賞会
- 幼稚園スタンプラリー
- クリスマス会
- カレンダーづくり



子育て支援センター アルテア子ども館

できる限り家庭に近い環境の中で

子育ての喜びも悩みも共感できる仲間づくり

2歳児クラス

子育て支援事業の一環(地域子育て支援保育)として、2歳児クラス(もも組)を開設しております。できる限り家庭に近い環境の中で、子どもたちがゆったりと安心して過ごせる保育を心がけています。

● 対象

幼稚園就園前の2～3歳児

● 保育日・時間

週3日(月・水・金曜日)

本園が休園のときは、2歳児クラスもお休みになります。

9:00～14:30

● 給食・おやつ

本園の給食施設で作られた在園児と同じ給食を提供しています。

*管理栄養士が栄養管理、衛生管理を行い、
安心安全な食材の活用を心がけています。

*食物アレルギー対応もおこなっています。

2歳児クラスの1日の流れ

9:00 登園

視診、排泄、手洗い、検温、自由遊び

9:50 おかたづけ、排泄、手洗い

10:10 朝の会(出席しらべ、うたetc)

10:20 おやつ

10:35 みんなで一緒にする活動

11:20 おかたづけ、排泄、手洗い

11:40 給食

12:20 おかたづけ、はみがき、排泄、手洗い

12:40 お昼寝

14:00 目覚め、排泄、手洗い、お帰りの会、視診

14:30 降園



子育てサークル

1年間を通してふれあいを深めていただけます。

● 対象

0歳児～3歳児のお子様とお母様
(お父様、祖父母の皆様も大歓迎です)

● 日時

毎週火・木曜日(ご希望の曜日1日)

10:00～13:30

● 活動内容

親子で楽しめる遊び お誕生会 交流会 子育て相談など
※年間を通して登録が必要です



子育てサロン

お好きな日を選んでご参加いただけます。

● 対象

0歳児～3歳児のお子様とお母様
(お父様、祖父母の皆様も大歓迎です)

● 日時

月1回 10:00～13:30

● 活動内容

親子で楽しめる遊び 子育て相談など
※1回ごと予約が必要です



母親クラブ

ひとときお子様とはなれてリフレッシュしていただく場です。

● 対象

子育て中のお母様

● 日時

年7回 10:00～13:30

● 活動内容

お母様同士で楽しめる学習会
情報交換など

※1回ごと予約が必要です



楽しい子育てにするために

子育て相談

子育てに真剣になればなるほど、悩みはつきません。直接相談やラジオ放送を通して、共に考え、楽しい子育てを求めています。

ラジオ番組「楽しい子育て」

平成9年より放送継続中

エフエム甲府(76.3MHz)

毎週日曜日 9:30～10:00

再放送/ 毎週水曜日 …9:30～10:00

好評継続中
ラジオによる
子育て相談



広く地域に向けて

施設開放・地域交流事業

山梨学院の施設を開放し、地域の皆様を対象に、様々な親子体験講座を開催しています。

- 幼稚園で遊ぼう
- 親子リズム表現
- みんなで泳ごう
- アルテア夏まつり
- 親子でクッキング
- 運動会
- みんなで遊ぼう
- お父さんと遊ぼう
- 親子で作って遊ぼう



子育て情報発信

Webサイトや「アルテア子ども館だより」等を用いて子育てについての情報発信をおこなっています。



その他の活動

山梨学院短期大学と連携した保育者の育成
中学生・高校生の保育体験の受け入れなど

幼稚園の1日

7:00

7時半ごろ通園バスが園を出発します

8:00

早朝の保育が始まります

9:00

通園コースごとに登園します

10:00

9時半ごろから自由に好きな遊びを楽しみます

11:00

クラスみんなで活動します

12:00

給食です

13:00

13時半ごろから絵本や紙芝居などをみんなで見ます

14:00

自由に遊びを楽しみます

14時半ごろから通園コースごとに降園します

15:00

アルテア子ども館*でのあずかり保育が始まります
おやつを食べ自由に好きな遊びを楽しみます
*本園子育て支援センター

16:00

「英語で遊ぼう」「大学の先生と遊ぼう」など、
保育プログラムが始まります

17:00

17時半ごろから
絵本や紙芝居などをみんなで見ます

18:00

18時半ごろアルテア子ども館での
あずかり保育が終わります



通園バスルート (2016年4月)

甲府市、笛吹市のエリアで8コースを設定し、バス3台を運行しています。在園児の居住地域に合わせて、毎年度見直しをおこなっています。

●自家用車での送迎
4割程度のご家庭は保護者の方が送り迎えをなさっています。

- 緑コース/春日居方面
- 水色コース/住吉・上町方面
- 青コース/長塚・塩坂方面
- 黄コース/御坂方面
- 赤コース/城東・東光寺方面
- 紫コース/後屋・貢川方面
- オレンジコース/石和町井戸方面
- きみどりコース/大里・昭和町方面



送迎バスルートの詳細はこちらから

園舎

配置図

敷地 4624.00㎡
のべ床面積 2298.00㎡

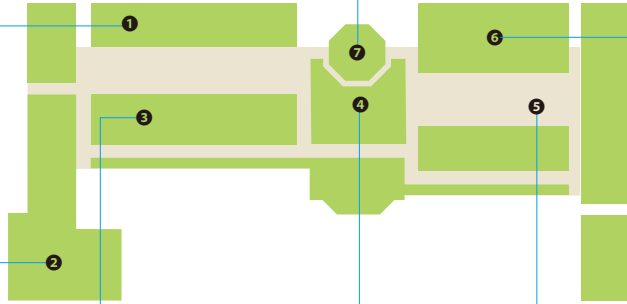


園舎・園庭

子どもへの思いを込めて設計された園舎



①温水プール
水質や水温、室温の管理も万全なプール



⑦ライブラリー
壁にぎっしり並んだ楽しい絵本や図鑑



⑥スカイホール
音響システムや大型スクリーンを完備



②クッキングハウス
美味しい給食のために衛生管理も徹底



③保育室
高い天井、冷暖房完備でのびのび快適



④オープンスペース
みんながダイナミックに遊ぶ自由空間



⑤デッキ
お日さまと風が心地よい半戸外の広場



アルテア子どもファーム
自然の恵みを肌で感じるみんなの農園

2016年5月現在の構成

■クラス編成

青組(年長/5歳児):3クラス
黄組(年中/4歳児):3クラス
赤組(年少/3歳児):3クラス

■教職員

園長:1名	教諭:22名	IB PYPコーディネーター:1名	管理栄養士:2名	調理・管財員:1名
副園長:1名	養護教諭:1名	学習支援アドバイザー:1名	栄養士:1名	運転手:3名
教育顧問:1名	体育指導員:1名	多文化教育アドバイザー:1名	調理員:6名	業務員:1名
事務局長:1名	特別講師:約10名			

沿革

1946年 山梨実践女子高等学院創立
1950年 幼稚園設置認可・開園
1951年 山梨学院短期大学栄養科設置認可
1953年 短期大学法経科設置認可
創立7周年マネケンピス建造
1954年 県下初のスクールバス導入
完全給食実施
1956年 附属高等学校設置認可
1959年 保育科母養成施設設置指定
1962年 山梨学院大学法学部設置認可
1965年 第13号館(園舎)竣工
大学商学部設置認可
1967年 短期大学保育科設置認可
1968年 プール・体育館竣工
1973年 第25号館(園舎)増築竣工

1979年 山梨県研究指定園[3年間]
幼児の教育1号発刊
1981年 幼稚園新聞「かけはし」発刊
幼児の教育2号発刊
1982年 文部省研究指定園[2年間]
1986年 短期大学保育専攻科設置認可
大学商学部経営情報学科設置認可
1988年 オペレッタ上演開始
1990年 大学法学部行政学科設置認可
短期大学経営学科設置認可
1991年 学校保健統計調査にて
文部大臣賞受賞
1992年 年輪ピック山梨大会集団演技出演
1993年 全国教育美術展学校賞受賞
大学経営情報学部経営情報学科設置認可

1994年 新園舎竣工
幼児の教育3号発刊
1995年 大学院公共政策研究科設置認可
附属中学校設置認可
アルテア夏まつり開始
1996年 山梨学院創立50周年
1997年 FM甲府開局
全国教育美術展学校賞受賞
1999年 山梨学院大学附属幼稚園/
子育て支援センター設立
2000年 世界児童画展都道府県団体賞
2002年 アルテア子ども館竣工
短期大学専攻科食物栄養専攻・
保育専攻設置認可
2003年 法科大学院設置認可
附属小学校設置認可
文部科学省 教育改革推進モデル事業採択

2006年 山梨学院創立60周年
アルテア子どもファーム完成
2009年 大学健康栄養学部管理栄養学科設置認可
2011年 給食施設「山梨学院クッキングハウス」完成
2012年 ソニー幼児教育支援プログラム 奨励園
2013年 ソニー幼児教育支援プログラム 優秀園
山梨学院クッキングハウス栄養関係功労者
「特定給食施設」表彰
2014年 「消防設備保守関係功労者」表彰
全国造形教育研究大会 公開保育
大学国際リベラルアーツ学部設置認可
2015年 ソニー幼児教育支援プログラム 優秀園
大学スポーツ科学部設置認可
2016年 「国際バカロレアPYP候補校」認定
「山梨学院幼稚園」に名称変更

学校法人 山梨学院

本園が属する学校法人山梨学院は、幼稚園から大学院までが相互に協力しあう総合教育機関です。



小学校



中学校



高等学校



短期大学



大学



大学院



山梨学院統一マスコット
「アルティ」と「ベッキー」

山梨学院幼稚園

<http://www.ygk.ed.jp/>
〒400-0805 甲府市酒折2丁目8-1
tel : 055-224-1390 fax : 055-224-1394

山梨学院幼稚園 子育て支援センター

アルテア子ども館

<http://www.ygk.ed.jp/altea.html>
〒400-0805 甲府市酒折2丁目12-18
tel : 055-224-1340 fax : 055-224-1993

